



～小集団活動を活性化させて意義のある活動にするために～

自主性をアップする

小集団活動の進め方

と き 2025年 11月 28日(金) (1日コース 10:00～17:00)**ところ** 中産連ビル 研修室(名古屋市東区白壁3-12-13) または、オンライン(Zoom配信)**ご参加
いただきたい方**

- ☒ 小集団活動の推進者、メンバー
- ☒ 小集団活動のマンネリ化を打破したい方
- ☒ 小集団活動の目的を理解したい方
- ☒ これまでに小集団活動に関わったことがない方

本研修のねらい

多くの企業が導入している小集団活動は、第一線の方々が自ら問題や課題を認識し、メンバーの力を結束させて解決していくことで、活力のある企業・組織文化を築き上げる大きな役割を果たしています。しかしながら、メンバー会合、活動報告書の提出、社内発表会などに帳尻を合わせて消極的な取り組みを行っているサークルや参加メンバーが多いのも事実です。これでは本来の目的を果たすことができません。

本研修では、小集団活動を活性化するために欠かすことのできない自主性をメンバーにどう発揮してもらうかを考え、その実践を通して本来の小集団活動の目的を実現していくことを目指します。

本研修の ポイント



- 小集団活動の必要性がわかる
- 良いテーマが選定できるポイントがわかる
- メンバーのまきこみ方がわかる

プログラム

1.小集団活動の目的と課題

- (1)継続的改善による顧客満足と企業の成長
- (2)自主的な活動による組織風土の活性化
- (3)活動を通じた人材の育成

2.小集団活動の進め方と課題

- (1)QC的問題解決ストーリー
- (2)テーマの選定
- (3)現状の把握と目標の設定
- (4)活動計画の作成
- (5)現状分析(要因分析)
- (6)対策の検討と実施
- (7)効果の確認

3.小集団活動を活性化するための方法

- (1)自主性に必要な「やる気」はどうすれば持てる?
- (2)良いテーマを見つける
- (3)興味・関心を持つための必要知識を得る
- (4)メンバーのモチベーションを高める
- (5)会合を盛り上げる
- (6)忙しい中でも工夫して会合の機会をつくる
- (7)本来の目的を忘れない

4.QC手法をもっと活用するための方法

- (1)QC的問題解決ストーリー
- (2)データの見方、まとめ方(分布、サンプリングなど)
- (3)QC7つ道具(数値データを中心とした解析)
- (4)新QC7つ道具(言語データを中心とした解析)

5.【演習】小集団会合のロールプレイ

(進行・議論の仕方、質問・提案の着眼点、動機付け)

